

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童サポートチーム あおぞらの木		公表日	令和 7 年 5 月 23 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		指定基準に基づいたスペースであるが、活動に合わせて工夫しています。	活動内容に合わせて環境設定を行っていく。 近隣の広場も活用していく。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		人員配置に基づいて配置している。	利用人数を把握して、職員配置を行っている。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・外階段が急であり、注意が必要。都度、声かけしています。	外階段使用時は事前に声かけや注意喚起を行っている。視覚的に情報伝達を行っている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日の清掃を欠かさずに行っている。	児童が安全に過ごせるよう、日々の清掃を行っている。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		クールダウンする際は、一人の空間で過ごせるように配慮している。	常に仕切りなどをして空間設定をしていないが、個別で使用したい時には仕切りをして使用できるように整えています。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・会議には全員出席にて行う。	職員全体が参加できるよう会議日程を設定しており、参加しています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・年に1度は評価表を記入いただき、意向を確認し、業務改善に繋げています。	保護者へ意向を確認後、職員全体で共有・周知し、業務改善に努めています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・毎日ミーティングを行っています。	個別・全体ミーティングにて意見を出し合い、業務に繋げています。

適切な	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	・相談員等外部からの評価を頂き、改善している	第三者からの意見を頂き、業務改善に繋げていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	・研修に参加して資質向上に努めています。	定期的に職員研修を開催したり、外部研修に参加して資質向上に努めています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	・事業所内にて支援プログラムを作成、ホームページや連絡アプリにて公表しています。	適切に支援プログラムを作成し、ホームページや連絡アプリにて公表しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	・アセスメントを行い、評価・分析して計画を作成している。	児童・保護者と面談でニーズを確認し、事業所内で話し合いを行い、個別支援計画書を作成しています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	・児童発達支援管理責任者だけでなく、職員全体で検討して作成をしています	・児童・保護者のニーズを基に、職員全体で個別支援計画の検討を行っています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	・職員全体で計画書作成を行っているため、全体周知しています。また、計画をもとに支援を行っています。	全体周知を行い、日々のミーティングにて確認を行っている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	・支援記録とは別に、児童の行動を記録しています。	児童の行動や様子を記録しています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	・児童一人ひとりの課題に合った支援内容を検討しています。	児童の課題に合わせた支援が行えるよう、職員だけでなく、児童と面談も行いながら検討して支援内容を決定しています。

支援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	・前もって会議、ミーティングを行い立案している。	職員で会議やミーティングを行い、活動プログラムの立案をしています。また、児童の意見も取り入れています。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	・固定化しないよう、内容は変えている。	児童の様子や状況に応じて活動内容を変更したり、固定化しないよう活動内容を工夫しています。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	・児童の状況に合わせて、個別・集団活動を取り入れている。	児童の様子や状況に合わせて、個別活動から集団活動へ繋げていけるように支援を組み合わせています。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	・毎日ミーティングを行い把握している。	支援開始前に職員ミーティングを行っており、活動内容や役割分担をしています。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	・翌日にミーティングを行っている。	支援後・翌日のミーティング時に職員間で情報共有をして振り返りをしています。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	個別支援計画に沿って支援を行い、支援記録を記入しています。	日々の支援の記録を行い、支援の改善に努めています。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	適宜モニタリングを行い、計画書の見直しを行っています。	適宜モニタリングや支援会議を行い、必要に応じて計画書の見直しを行っています。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	・児童に合わせた支援を組み合わせて行っている。	児童の課題に合わせながら、多方面からの支援を行っています。
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	適宜、児童と面談をして支援内容や目標設定を行っている。	児童の意見を活動に反映したり、個別で面談を行い支援方法や内容、目標を一緒に検討・決定しています。
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	・児童発達支援管理責任者が参加しています。	支援会議を行い、職員全体で児童の様子を共有した後、児童発達支援管理責任者が会議に参加しています。

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	・特に教育関係者との連携を図っています。	送迎時やモニタリングなどを活用して、情報共有をして連携を図っています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・学校便り・児童や保護者からの連絡・教師からの電話連絡などで情報の共有を行っています。	文書や口頭（対面）・電話など積極的に情報共有・連携を行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	/	/	該当なし	該当ありません
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	/	/	該当なし	該当ありません
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	・機関とモニタリングをしたり、助言をいただいている。	必要に応じて基幹との連携や関係機関との連携を行っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		・長期休みや祝日を利用して交流している。	祝日や長期休み時に地域の学童や他事業所と計画を立てて、一緒に活動を楽しんでいます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		・全員で参加している。	職員で参加しています。今後も参加していきます。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・モニタリングや送迎時に伝えている。	送迎時やモニタリングにて児童の様子を細かく伝え、共有しています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	・研修がある事などの情報提供は行っていても、事業所での開催は行えていない。	必要に応じて、研修の案内を行っています。事業所でも研修会や勉強会を開催できるように検討していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・必要に応じて、児童発達支援管理責任者から説明を行っている。	契約時・適宜必要に応じて、細かく丁寧に説明を行っています。

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	・こどもの最善の利益を優先考慮の観点に、児童や家族の意向を確認しています。	モニタリングや面談時に児童や保護者の意向や思いを確認しながらサービス提供を作成しています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	・保護者にしっかり説明をして同意を得ています。	担当者会議やモニタリング、送迎時に作成した計画書の説明をしっかり行い、納得した上で同意を得ています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	・適宜、相談に応じている。	ちょっとした子育ての悩みや不安等を打ち明けて下さるよう関係性を構築し、送迎時や面談にて助言・支援を行っています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	・年1回以上は活動参観を作って連携している。	保護者会を兼ねての活動参観を設定しているが、保護者同士の交流は少ないため、今後交流できる場の調整をしていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	・迅速な対応ができるよう体制を整えています。	苦情があった場合は、状況の確認を行い、迅速かつ丁寧な対応を行っています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	・れんらくアプリを利用して発信している。	れんらくアプリを活用して活動の様子や内容の情報配信を行っています。定期的にあおぞらだよりを発行しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	・保管庫に入っています。	鍵付きの保管庫にて保管しています。今後も十分留意していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	・文字や絵にて伝達している。 ・特性に合わせた対応を行っている。	視覚的情報として、文書にて情報伝達を行ったり、口頭や電話など状況に合わせて対応しています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	・年間を通してイベントがある月には地域にも交流依頼を行っている。	夏祭り・ハロウィン・クリスマスなど、地域と連携していきます。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	・マニュアルを策定して、年に2回以上訓練を行っている。訓練後は保護者へも周知しています。	年に2回以上の訓練は行って保護者への報告も行っているが、なかなか周知出来ていない部分もあるため、報告方法の検討をしていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	・災害の発生に備えて定期的に訓練を行っている。	定期的に災害発生時に備え、職員・児童で訓練を行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	1 ・保護者に確認を行っています。	現状てんかん発作等の児童はいないが、契約時に服薬・予防接種・持病などの確認を行っています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	・ドクターや保護者からの指示のもと対応している。	アレルギー検査結果や医師の指示書に基づいた対応を行っています。（保護者に確認を行い、情報共有を行っています）
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	・安全管理に必要な研修や訓練を行っています。	職員研修や訓練を行ながら、安全管理を十分に行い支援を行っています。今後も安全管理をしっかり行なっていきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について家族等へ周知しているか。	4	1 ・保護者との連絡・連携が図れるよう、文書にて周知しています。	連絡・連携方法等をれんらくアプリや書面にて保護者には周知しています。スムーズに連携が図れるよう、日頃から連絡・連携していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	・日々の活動の中で上がったヒヤリハットを職員で確認し、再発防止・事故防止に努めています。	ヒヤリハットの内容を職員で共有・検討し、再発防止・事故防止に努めています。今後も職員で共有しながら安全に活動を行なっています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	・年に2回以上は研修を行う	行政の虐待防止研修に参加して、虐待防止に努めています。また、日頃から職員同士で話し合いをし、虐待防止の意識を高めています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	・現在、身体拘束が必要となる場面はない。	現在身体拘束が必要となる場面がないが、身体拘束に当たる事項については保護者も含め検討していきます。必要な場合は事前にしっかりと説明・同意を得て計画に記載していきます。